

## ニュージーランド短期交換留学プログラム

In November, 25 students from Fukuoka Kaisei Girls' High School and local junior high schools participated in the New Zealand Short-Term Exchange for 12 days. Students were able to go to our sister school in Hamilton, Hamilton Girls' High School. Students were warmly welcomed to Hamilton Girls' High School with a traditional Maaori welcome, then soon after students went off to classes with their school buddy. Students enjoyed participating in the classes at Hamilton Girls' High School. Students were most surprised with the green field where they did their PE classes. Each day students went home with their homestay family. They even got to spend two weekends with their host families too! By the end of the short-term exchange, everyone was in tears to say their goodbyes!

It was a great opportunity for our students to speak English every day and challenge themselves in a new environment. We hope they will never forget their time in New Zealand and all the best with your English studies from now on too!

11月に、福岡海星女子学院高等学校および近隣の中学生計25人が、12日間のニュージーランド短期交換留学プログラムに参加しました。ハミルトンにある姉妹校ハミルトン・ガールズ・ハイスクールを訪れ、伝統的なマオリの歓迎で温かく迎えられました。その後すぐに学校の授業に参加することで、生徒たちは初日から楽しい時間を過ごしました。体育の授業では、緑豊かなフィールドにとっても驚きました。生徒たちは毎日ホームステイの家族と一緒に帰宅しました。彼らはホストファミリーとの週末も2回過ごすことができました。短期交換留学の最後には、皆が涙ながらに別れを告げました。

今回の短期交換留学プログラムは毎日英語で話す機会があり、新しい環境で自分自身に挑戦する素晴らしい機会でした。生徒たちがニュージーランドでの時間を決して忘れず、これからの英語の勉強でも頑張りたいと願っています。



I was able to learn a lot of things through this training. When I went abroad for the first time, I was surprised that the rules were completely different from those of Japan. Also, I was happy that all the students at HGHS were very kind. I went to a big shopping center with my host mother and it was very different in size from Japan! Everyone in town was nice and happy. We had a great time having a party and eating together. It was good to be able to spend time in a quiet environment rich in nature.

私は今回の研修を通して沢山のことを学びました。初めて海外に行って日本とはルールも全然違うことに驚きました。

また、HGHSの生徒達はみんなとても親切で嬉しかったです。ホストマザーと大きなショッピングセンターに行きましたが、日本とは全然大きさが違いました！町の人はみんな優しく嬉しかったです。

みんなでパーティをしたりご飯と一緒に食べたりしてとても楽しかったです。自然豊かで静かな環境で過ごす事が出来て良かったです。

(IA Sheila Shiroyama)

# Kaisei Times

FUKUOKA KAISEI GIRLS ·  
HIGHSCHOOL  
2024.1

## 1月のご挨拶

校長 古賀 誠子

新年、あけましておめでとうございます。保護者の皆様には、健やかな新年をお迎えのことと拝察いたします。皆様にとって、よき1年となりますようにと祈ります。今年もどうぞよろしく願いいたします。

いよいよ1年間の最終学期になりました。生徒の皆さんは、自分の短期目標、長期的目標を明確にし、それぞれの夢に向かって努力して、その結果を確実に見えるものにしながら、次の学年への進級を果たしてもらいたいと考えます。

さて、今年度はマリアの宣教者フランシスコ修道会が、日本での宣教を始めて125周年、本校は創立60周年という記念すべき年です。12月7日に行われました創立記念式典では、修道会の宣教の歴史を振り返りながら、私たちは本校創立のルーツをたどることができました。そして熊本慈恵病院の当時の病院長であった蓮田太二先生と、熊本慈恵病院のこのとりのゆりかごの創設に精力的に携わり、自身の活動がテレビドラマ化された、田尻由貴子先生をお招きし、「愛といのちについて」という演題でご講話いただきました。そして、その様子は12月29日の西日本新聞でも大きく取り上げられました。あらためて、生徒・教職員一同、学院の建学の精神に誇りを持ち、そこに今在る者としての責任を強く受け止め、61年目の福岡海星に、これを受け渡していく決意を固めたところです。

記念式典に出席した生徒は、このように振り返っています。「多くの方々のご苦労と、先輩たちによってつくられた校風が60年続いたおかげで、現在私たちが学ぶことができていくことをあらためて、実感することができました。」(1年生)「愛を持って真理に向かうというスクール

モットーの『愛』は、神であるということがわかりました。61年目が素敵な年になるように、私にできることは何でもやって、よりよい海星になっていくようにしたいと思います。」(2年生)「マリアの宣教者フランシスコ修道会の5人のシスターが『はい』と答えてくれたことで、福岡海星がここに在り、入学することができたことを誇りに思います。最高の仲間たちと出会えたのも、5人のシスターのおかげだと改めて感じました。」(3年生)「当時、ハンセン病の患者は人として扱われずに激しい差別や偏見を受けていたのにも関わらず、5人のシスター方は、はるばるフランスから船にゆられて日本の地にたどりつき、病気をおそれずにこれらの病者に寄り添い、看病をした。自分のことより、人のためにつくそうとするシスター方の話を聞いて、自分もそうなりたいたいと強く思いました。」(3年生)

福岡海星は、ご存じの通り、シンガポール、インドネシアをはじめとする世界中の海星でスクールモットーを共有しています。この世界的なスクールモットーを背負う一員として、福岡海星の生徒は、コール神父様からの派遣要請に「はい」として応えて、病者のために自分を差し出した5人のシスター方の生き方に倣う人となってほしいと願います。

生徒一人一人が願う進路を実現し、確かで、強い思いをもって、隣人のために、社会のために働く人となりますように。そして、私たち教職員一同も、使命感をもって、61年目も人々の平和、世界の平和に貢献する生徒の育成に力を尽くしてまいります。今年も、本校の教育方針に、何卒ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



# 創立60周年記念式典

令和5年12月7日(木) 10:00~12:00

福岡海星女子学院高等学校 創立60周年おめでとうございます。ヨハネによる福音書1章に「はじめに言葉があった」とあります。これは、「はじめに神の想いがあった」ということでしょう。福岡海星女子学院の創立のはじめ、60年前には、誰の、どういう想いがあったのでしょうか。あなたたちはその想いが現実となった今、ここで学んでいるのです。

あなたたち一人一人は、後に続く後輩のために残す1ページに、責任があります。「あなたは世の光である」と神様からお墨付きをいただいて今日を生きる「私」です。「あなたは世の塩である」と神様から太鼓判を押されて存在している「私」です。しっかりとした足取りで61年目への一歩を踏み出しましょう。



シスター入江挨拶

## 田尻由貴子先生(慈恵病院元看護部長)による記念講演 「いのちと愛」～このとりのゆりかごが問いかけたもの～

【生徒の感想より】

・出産を終えたお母さんと養子縁組をした夫婦が涙を流す場面にとっても感動しました。両方に赤ちゃんへの深い愛情があったからこそ流れた涙だったのだろうと胸が熱くなりました。(1年)

・このとりのゆりかごに赤ちゃんを預けて来てくれたお母さんを責めるのではなく、「産んでくれて、ありがとう」「命を繋いでくれてありがとう」というあたたかい声をもっと社会全体から聞こえてきたらいいなと思いました。(2年)

・愛の反対は憎しみではなく無関心であるという言葉に胸をうたれました。全ての子どもたちがいろいろな人から愛をもらい、愛を返していけるような社会になってほしいと思いました。(3年)



当日、KBCテレビのニュースに取り上げられました！



インタビューを受ける 井上 柚さん



西日本新聞 12月29日

# 街頭募金

12月2日(土)、福岡市の天神と大橋駅で、本校創立以来続いているクリスマス助け合い街頭募金を行いました。集まったお金は、マリアの宣教者フランシスコ修道会を通じて、アフリカ マダガスカル の医療施設に寄付されました。暖かいご支援ありがとうございました。心より感謝申し上げます。



祝

バトン部2年連続全国大会金賞！！



12月9日(土)に幕張メッセにて「第51回バトントワーリング全国大会」が行われました。バトン部が九州代表として出場し、【金賞】を受賞することができました！

たくさんの応援ありがとうございました。

今年も幕張の舞台に立てるように頑張っていきます。今後もバトン部の応援をよろしく願っています。

Follow me

福岡海星女子学院高校



## Schedule of events

1/9	火	始業式
1/13	土	大学入学共通テスト
1/14	日	
1/15	月	3年特編第2期
1/19	金	専願入試
1/20	土	コサージュ作成